

サイバー空間に関するブダペスト会議結果

資料 1-3

経緯

昨年11月英国政府が主体となって、幅広い層の参加者を得てサイバー空間に関する包括的なテーマを取扱う「サイバー空間に関するロンドン会議」を開催。ブダペスト会議はフォローアップ会合。

開催日

2012年10月4日及び10月5日

場所

ハンガリー・ブダペスト

主催

ハンガリー政府

参加者

60カ国以上からの政府関係者、国際機関、民間セクター、学界、NGO代表など600名以上が参加。日本からは、KDDI 小野寺正会長及び今井治 外務省サイバー政策担当大使が講演を行った。



【オルバーン ハンガリー首相スピーチ】

概要

- 経済成長と発展、社会的便益と人権、サイバーセキュリティ、国際安全保障、サイバー犯罪の5つのテーマに沿って議論が行われた。
- サイバー空間の社会・経済的便益性を認識し、こうした便益を損なわない形でサイバー空間の安全性を確保することのバランスについて重要性が確認された。また、そのための人材育成や官民連携、国際連携の重要性についても共通認識が得られた。
- 表現の自由や情報の自由な流通の重要性につき強調するとともに、サイバー空間におけるマルチステークホルダー構造の重要性、キャパシティ・ビルディングの必要性について共通認識が得られた。
- 既存（実空間）の法令や伝統的な規範はサイバー空間でも適用されることなどが確認された。また、行動規範作りの進展及び必要性について再確認されるとともに、サイバー犯罪条約の有効性についても多くの合意が得られた。

次回

韓国がホスト国として2013年10月に開催予定